



# 95歳おめでとございます



宇佐美 としゑさん  
(新生町)

大正14年1月1日生

ご自宅へお伺いすると、お辞儀をして迎えてくださったとしゑさん。町長から「95歳になってどうですか。」と聞かれると、「今まで大きい病気もしたことがないですし、おかげさまで元気です。」と答えられました。その健康の秘訣については、「若い頃、在所のお菓子屋の仕事で、行商のためにあちこち歩いていたのが良かったのかもしれない。」と教えてくださいました。現在の楽しみについて何うと、「家族がみんな元気できてくれることが何よりの楽しみです。」と笑顔で仰っていました。最後に、町長から「冬も本番になるので、風邪をひかないように気をつけてください。」と言われると、「はい。」と力強く答えてくださいました。



北村 美代子さん  
(下東野)

大正14年1月4日生

50年ほど前まで八百屋をされていたこともあり、地元では少し有名だという美代子さん。ご近所の方からは「みよちゃん」と呼ばれ、優しく接してらっしゃるのが幸せだと仰っていました。95年間を振り返り、「戦争などではない思い出だったので、今がとても幸せだと思えます。人間、何でもありがたいと思うことが大事ですね。」とお話ししてくださいました。また最近の楽しみは、リハビリセンター白鳥でお友達とお話することだそう、喋りすぎて疲れるくらいだと仰っていました。嬉しかったことについては、「家族が親孝行なことです。娘の旦那もいい人なんです。」とこっそりと教えてください。娘さんは「なんだかこそばゆいですね。」と照れ笑いされています。



平野 とみゑさん  
(上田)

大正14年2月1日生

お祝い状を読み上げ、記念品とお花をお渡しすると、「きれいなお花ですね。お部屋に飾らせてもらいますね。」と喜んでくださったとみゑさん。日頃、テレビを見るのが楽しみだそう、水戸黄門などの時代劇や、韓流ドラマをよく見ているそうです。また、天気の良いあたたかな日には、30分ほど散歩をされ、その時にご近所の方と外で話し込むこともあるとお話しされました。ご健康の秘訣について何うと、「やっぱり運動すること、何でも食べることですかね。」と教えてくださいました。実は牛乳と納豆だけは苦手だそうで、その分ヨーグルトなどほかの食品で必要な栄養を補っているそうです。最後は玄関先まで丁寧に見送っていただきました。



矢橋 輝男さん  
(本郷皆米)

大正14年2月4日生

80歳まで県の職員として、農業土木関係の仕事に尽力してこられた輝男さん。町長とは、土地改良の事業が盛んだった頃の苦労話に花を咲かせていました。趣味は読書で、農業技術や、政治、文学などあらゆる分野の本を読まれるそう、月に10回ほど町図書館に行かれています。また、毎日の畑作業が日々の楽しみで、収穫した野菜はご自身で調理されるそうです。お元気の秘訣について何うと、「やれることは自分でやるのが大事ですね。その方がいいいきいます。」と答えられました。最後に、町長から「また5年後に100歳のお祝いに来ますね。」と言われると、「それまで元気に頑張ります。」と意気込みを語ってくださいました。